

令和元年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日: 7月30日(火)

会場: 八次コミュニティセンター

参加者数: 51人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>比叡尾山城跡を中心とした熊野神社から岩屋寺までの約5キロの歩道は空中の散歩道とも呼ばれており、自治会では小冊子やガイドブックを作成し、魅力発信に取り組んできた。行政としてもこの貴重な資源を再認識いただき、整備等保全活動を中心に力添えをいただきたい。</p>	<p>八次地区には比叡尾山城を中心に熊野神社や岩屋寺など多くの史跡がある。八次地区では、比叡尾山城跡一帯への桜や紅葉の植樹も継続的に行われており、花の里づくりにも取り組まれている。また、地域力向上支援事業補助金などを活用して、岩屋寺公園でも防護柵を整備していただいております。市としては、今後も地域のまちづくりを支援していきたい。</p>	
<p>長期計画では、馬洗川の旧鳥居橋から熊野橋までの南畑敷側堤防の遊歩道整備が計画されているが、なかなか完成に至っていない。畠敷側は完成しているので、南畑敷側が完成すれば、旧鳥居橋から熊野橋まで周遊ができ、健康づくりにもつながる。ぜひ早期の実現をお願いしたい。</p>	<p>国・県・市のほか自治連・女性部等の様々な会の代表の方に集まってもらい、「川まちづくり懇話会」を結成している。その中で三川合流部の環境整備計画を立てる会があり、第2次重点プロジェクトとして、南畑敷側堤防の遊歩道整備がある。今年の秋から着工し、年度内の完成を予定している。</p>	
<p>三次には3つの川があるが、全ての川の水が汚く、魚が見えないほど水質が悪い。浄化槽の水が出てきているからではないか。もっと川を活かした振興もできるのではないか。</p>	<p>八次地区では下水道の工事を進めているところである。下水の汚水処理人口普及率は30年度末現在で、78.4%、約8割が汚水処理できている状況である。水洗化率も82%となっており、昔と比べればかなり水質は向上していると認識している。浄化槽から出る水で川の水が汚くなっているということであるが、台所からそのまま洗剤がまざった水が流れていたころと比べれば、浄化槽を通して浄化された状態にして流しているため、河川の水質は良くなっていると思う。</p>	
<p>岩屋寺公園と熊野神社のトイレは人が入れるようなトイレではなく、困っているので何か考えてほしい。</p>	<p>現在の状況等について、自治連とも今後、話をさせていただければと思う。</p>	
<p>長土手の前の直線の川でボート遊びができるようにしてはどうか。長い直線の道路で、川の流れもゆるやかな場所である。これまでに声をあげたこともあるが、閘を止めた時とそうでない時の水深が違う、漁協の許可がいるのではないかと、国の川なのでどうなのか、端にボートを止めておく場所が無いのでは、駐車場が難しいのでは、などの意見もあった。 交通量が多い直線の道路から若い人がボートで遊んでいるのが見えると、三次はロマンチックだな活気があると思うのではないかと。</p>	<p>こういった場所は、三次市内にはほかにあまりないと思う。実現に向けては、いろいろと制約もあると思うが、ひとつのご提案として受け止めさせていただきたい。</p>	

令和元年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日: 7月30日(火)

会場: 八次コミュニティセンター

参加者数: 51人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>一昨年の投票所の縮小に伴って、車を出してもらっているが、途中で乗れないし降りられない。また、投票が終わっても、30分経たないと車が出発しないため待たないといけない。今回も3人しかいないのに30分も待っていた。高齢化が進み、高齢者が免許返納をしても、こんなことでは選挙をするなと言っているようなものである。改めて考え直す必要があるのではないか。</p>	<p>・投票所の再編に伴って始めたジャンボタクシーやバスでの巡回車であるが、選挙管理委員会が整理しており、いただいた意見については、詳細については、選挙管理委員会にも確認したうえで、改めて回答させてもらいたい。</p> <p>・三次市では、投票所を93箇所から73箇所に減らした。有権者の皆さんの投票機会をどのように確保していくかが今後の課題であり、来年には市議会議員選挙も控えている。有権者の視点でどういった投票所が望まれるのか、内部で検証し、来年の選挙に備える必要があると考えている。これまでいろいろな自治体で実証されているが、移動式の投票所や、ショッピングセンターなど人が集まる場所に期日前投票所を設置する取組を実施しているところもある。そういったことも参考にしながら、市民の皆さんの利便性の向上のために検討していきたい。いずれは、近い将来ICTを活用した投票環境になる可能性も十分考えられる。そのあたりも調査していきたい。</p>	
<p>もののけオープンの旗について、いまだに「4月26日オープン予定」と書いた旗が立っていた。3か月以上経っているので、早く撤去した方が良いと思う。</p>	<p>オープン後も周知のためもあってしばらく設置していた。周知も一定程度進んできたので、撤去を進めており、現在、新しいのぼりを設置して周知に取り組んでいる。</p>	
<p>きんさいスタジアムで開催されたプロ野球公式戦を見に行ったが、女性トイレがとても混み合っていた。知り合いに陸上競技場の2階にもトイレがあると聞いて行ったところ、使用禁止のトイレが2、3箇所あった。早く修理をしてもらいたい。</p>	<p>プロ野球公式戦には、たくさんの方にご来場いただいた。特に女性のトイレが混んでいるとのご意見をいただき、今年は、例年よりも仮設トイレの数を増やして対応したが、案内が十分にできておらず、不便な思いをしていただき、申し訳なく思う。</p>	
<p>下畠敷地区の浸水時避難場所の確保について、市民ホールきりりは大事な避難場所であるが、駐車場が浸水すると住民の方も避難しにくい。駐車場の嵩上げは難しいと思うが、立体駐車場にできないか。</p>	<p>避難所については、昨年の7月豪雨のあと、三次市全体の見直しを進めてきた。その過程の中では、各自主防災組織の皆さんとも話をして調整してきたところであり、自治連ごとに19の基幹避難所を設け、補助避難所を指定した。市民ホールきりりについては、補助避難所という扱いとさせてもらっている。いずれにしても、このあたりは地形的に非常に厳しい状況がある。ハードを中心に、国・県・市で分担してやっていく。立体駐車場にという話は非常によくわかる。今この場でできるできないをお伝えすることは難しいが、貴重なご意見として承らせていただく。</p>	
<p>県が大谷川の堤防の嵩上げを計画しているが、降水量が多いときは、大谷川に流入する雨水の量が多く、八次コミュニティセンターも指定避難場所になっている。ここを含む河口付近では浸水する危険性がある。少し先には八次消防団の三部の格納庫があるが、昨年の7月豪雨の際には、浸水して使えなかった。可能かどうかかわからないが、大谷川の樋門付近にポンプの設置をして浸水対策をしてほしい。畠敷地区の浸水が少しでも防げるのではないかと思う。</p>	<p>大谷川の改修については、今回、内水対策の検討会議の中でも、嵩上げやポンプの件も含め、どういった形が良いかを広島県で検討してもらうことになっている。国と協議をしながら進めてもらっている。</p>	

令和元年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日: 7月30日(火)

会場: 八次コミュニティセンター

参加者数: 51人

参加者の発言	市の発言	備考
尾道松江線が開通し、畠敷農免道の交通量が増え、朝夕は渋滞している。特に通学中の子どもたちにとって、非常に危険な状態が続いている。卸センター入口の交差点の横断歩道は歩行者専用の信号ではないため、車と同じタイミングで信号が変わり、非常に危ないと感じる。それを含み、農免道の渋滞緩和等の交通安全対策をお願いしたい。道幅も狭く、難しいこともあると思うが、子どもの数も増えているため、ぜひ検討をお願いしたい。	これまで市では、横断歩道のカラー舗装、路面への注意喚起表示、街灯の設置等を実施してきた。歩行者用の信号については、公安委員会の所管になるため、警察に伝えさせていただく。	
市道八次86号線道路改良に関する要望書を平成26年に八次自治連合会の会長と一緒に三次市に要望した。平成27年度は設計の年だったと思うが、要望区間280mに対し、3年経った現在、まだ120mである。1年あたり40mでも、あと4年はかかる。用地は企業から承諾をいただき、譲渡の請求書もできている。毎年、年度初めに土木課に今年はどうかと聞いているが、今年は災害優先で要望にお応えできるかわからないと返答をもらっている。災害優先はわかるが、通学路であり、このままだと4年かかる。尾道松江線の影響で交通量も増えている。どのように考えているのか伺いたい。	今年度改良工事をやっていきたい思いはあるが、災害の入札は6月以降不調が続いており、業者が手一杯で、なかなか事業をとってもらえない状況がある。業者も協力体制で頑張ってもらっているが、契約にいたらないこともあり、この件については、できるかできないかわからないというのが正直なところである。1年に40mということについては、今後、内部で効率的な方法について考えていきたいと思う。	
日南常会の一部の地域には上水道が通っていない。2年前に前市長の時に要望書を提出してお願いしたが、その後の進展状況を教えてほしい。	平成28年5月に最初の要望書をいただいて、7月に集会所に伺い、現状等についてお話をさせていただきました。この時には、すでにご要望をいただいている他の進捗状況と、日南常会については、ある程度めどがたってから改めてお話しさせていただきたいとお伝えしていた。当時は、配水池について具体的な計画ができていなかった。最後にご要望いただいてから2年経ったが、八次配水池の具体的な建設計画を策定し、実施設計も終え、複数の地権者の皆様から配水池・ポンプ所の用地提供のご協力をいただき、今年度から工事着手ができることとなった。用地提供のご協力をいただいた皆様には、感謝申し上げます。日南地区の具体的な水道管の布設についての考え方は、八次配水池の整備ができれば、日南地区はすべて自然流下で配水が可能となる。配水池ができれば、ご要望の件も自然と解消していくと考えている。ただし、配水池・ポンプ所・送水管など多くの施設を整備する必要があり、送水管については、大きいもので径400mmという管を布設する計画としていることから、かなりの経費と時間がかかる。現時点では未普及地域が何年度に解消になるかお答えすることは難しいが、今年度から工事着手を考えているので、具体的な配管計画が決まったらご説明に伺いたい。	
卸センター入口の交差点の信号機の件は、4、5年前から八次自治連合会から、警察と市に、信号だけは変えてほしいと要望を出している。去年、三次警察署長に直訴に行ったが、全然動いてくれない。市のほうから力強い支援をしてほしいと思い、今回、八次自治連合会の要望としてあげさせていただきました。	行政のほうからも強く要望していきたい。	

令和元年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日:7月30日(火)

会場:八次コミュニティセンター

参加者数:51人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>きんさいスタジアムの人工芝改修事業について、全面を人工芝にするメリットがわからない。現在は、ピッチャーマウンドとベースのところだけが土であるが、全国でもランナーが走るところと内野手が守るところを土にしている球場はたくさんある。高校生や中学生が使うときにはそういった球場のほうが良い。全面が人工芝だと、芝の下はアスファルトであるため、金のスパイクで走ったりすると膝や足首に負担がかかる。また、温度も高くなる。ドーム球場は日光があたらないため、人工芝にするのはわかるが、屋外球場で人工芝にするメリットは、経費の面と管理のしやすさしかない。子どもたちのことを考えると、せめてランナーが走るところと内野手が守るところは土にしてもらえないか。子どもたちのことを一番に考えてもらいたい。</p>	<p>・ベース回り・マウンド・バッターボックス回りは土(アンツーカー)を使っている。この球場は、塁間などが違う少年野球にも対応できるように、アンツーカー部分をベース回りに広くとっており、マウンドも大きくしている。人工芝の構造は、下には砕石を15センチ程度、その下に配水、その上に透水性の塗装をして人工芝を貼って、5,6cmゴムチップと砂を混ぜたものを入れて人工芝の舗装を押し上げている。人工芝が出始めのころは、カーペットに敷くような人工芝だったが、最近では改良されて、柔らかくクッション性のある人工芝になってきている。平成21年の完成のときには、最新の人工芝を採用した。中高生は人工芝用のスパイクが必要で費用がかかるということで、金のスパイクも使用して良いとしていた。そういった関係で、内野部分の芝が痛んできた。外野部分はまだ十分使えるということで、この度は、内野のみを改修するようにしている。三次のように雪の多い地域では、芝をいつでも使える状態で管理していくのは天然芝では難しいということで、管理費用も約10分の1くらいで管理できることもあり、人工芝での改修を考えている。</p> <p>・両面検証する必要があると思う。ご意見を持ち帰らせていただき、メリット等を比較して検討させてもらいたい。</p>	
<p>自分の圃場に接する隣地の耕作放棄地について、草や茂みで荒れ放題になっている。土地の所有者にも「不便なので耕作を継続できない」「男手がない」「高齢化して継続できない」という方が非常に多い。そういった人たちがどんどん増えていく中で、どう対応したら良いかわからず困っている。元々できない方たちにやってください、あるいは毎年お金を使って委託してくださいと言うわけにもいかない。放置していると獣の巣になって周りの人が被害を受けるなど、獣害コストや草刈り管理コストが高まってきており、非常に悩んでいる。</p>	<p>土地の所有者ではなかなか難しい状況である場合、ひとつは地域全体で耕作放棄地を防いでいくということで、該当地域が対象地域となっているかはわからないが、中山間の直接支払制度というのもあると思う。まずは所有者の方、難しければ地域でカバーしていくことも必要であると思う。また、その土地を活用するという視点も今後必要ではないかと思う。いったん耕作放棄地になって、それをまた改修していくのはパワーがいるが、そこを無くしていく、また活用していくという視点も持って、地域の農地を維持していただきたい。制度があれば有効に活用していただければと思う。</p>	
<p>三次東インターの法面の除草作業について、水を引く水路があるが、そこに毎年カズラが繁茂してきて草刈りが困難になっている。インターの近くのため、火を使って燃やすこともできず勝手に草刈りをしてはいけないということで、今は春に1回だけ水路を管理する数人で草刈りをしているが、管理者が高齢化で草刈りの人数も減ってきている状況がある。定期的に手入れをしてもらえるようお願いしたいが、どこに相談したら良いかもわからない。</p>	<p>個別に教えていただいて、現地を確認したい。</p>	

令和元年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日: 7月30日(火)

会場: 八次コミュニティセンター

参加者数: 51人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>昨年の懇談会で質問した保育所のオムツの持ち帰りの件について、保育所で処分してはどうかと提案したが、現在どうなっているのか聞きたい。</p>	<p>現状は保護者に持ち帰ってもらっている。保育所では、ビニールで密閉してトイレ等で蓋のついた容器で保管し、子どもさんが帰るときに保護者の方に持ち帰ってもらっている。持ち帰りの理由としては、2つある。1つは、保育所内に給食の施設があるため、衛生感染予防として保育所では衛生管理を行っている。ゴミの回収は週に1~2回となっており、オムツも含めて出そうと思うと長期間の保管になってしまう。2つ目は、保護者の方がオムツの個数を把握することができたり、子どもさんの排泄の状況を保護者が知りたいといった意見があり、持ち帰りをお願いしている。処分に取り組むことを考えた場合、ゴミの回収回数を増やしたり、オムツの保管場所について、子どもたちの動線にあたらない場所の検討や、給食食材の搬入経路にあたらない調理員の動線にあたらないなど、保管場所も注意して設定する必要がある。また、これについて保護者が実際にどのように考えているか知るため、保護者会連合会の集まりで聞いたところ、「日々のことなので数も多くなく、負担に思わない」「紙オムツ持ち帰るのが当然である」「紙オムツの回収に予算を組むのなら子どもたちに関係のある環境整備等に予算を組んでほしい」などの意見があった。また、今年、子ども子育て支援計画という計画を立てるにあたり、就学前の子どもをもつ保護者と小学校の保護者にアンケートをとった際、自由意見の欄にオムツに関する意見があるかどうかを確認したが、特に記載はなかった。以上のことから、保護者の方のご意見を優先し、現在のところは、オムツの持ち帰りをお願いしているところである。</p>	
<p>ゆげんきがオープンしてから11ヵ月が経ったので、決算と予算について情報公開を求めた。決算資料はありませんとのことであった。予算資料は理解に苦しむようなものであったため、回答をお願いしたい。</p>	<p>決算資料については、9月議会で審議・議決となっている。その中に利用状況や決算の収支を示しているのので、議会終了までお待ちいただきたいと思う。また、予算書については、議会で議決いただいた予算書の付属書を出させていたいただいている。作業当時のものは確定のものではないため、出すのを差し控えさせていたいただきたい。</p>	
<p>予算をもっと積極的に進めてほしい。市民の方にももっと知ってほしいと思う。</p>	<p>広報や情報公開の基本的な考え方については、市民の方との対話を徹底して協働したまちづくりを進めていこうという方針がある。市民の方の意見を聞いて対話をして、市が持っている情報もわかりやすく提供していくことが重要であると考えている。今後も広報紙やホームページ、SNSなども活用しながら、いろいろな媒体でより分かりやすい情報を届けられるように努力していきたい。</p>	
<p>メキシコ陸上選手団の事前合宿について、今年は選手が来るのかどうか教えてほしい。</p>	<p>8月12日から9月2日の期間で受け入れを予定している。昨年も三次市陸上競技協会の皆さんにはご協力をいただいた。実行委員会にも入っていただいております。引き続きご協力をお願いしたい。現時点では、詳しいスケジュールがはっきりしていないところもあるので、具体的に決まれば、改めて三次市陸上競技協会を通してお願いさせていただきます。</p>	